

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	柏崎市家庭教育支援チーム (呼称:よろんごの木)
②活動拠点	比角コミュニティセンター
③活動範囲	柏崎市内、第二中学校区
④組織体制	4 人 柏崎市社会福祉協議会理事 1 名、子育てサポーター3 名 その他、個別対応相談員として主任児童委員 2 名
⑤活動開始年度	平成21年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等)須田 貴子 (TEL)比角コミュニティセンター (0257)24-7487 (E-mail)future_atlas94@amber.plala.pr.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p><u>1. 居場所づくり</u> 児童等が自由に遊べる場所を地域のコミュニティセンター内に設置し、子どもや保護者と会話する中で悩みを聞くようにしている。</p> <p><u>2. 啓発活動</u> ・各種団体との連携による挨拶・交通安全・メディア・防犯等啓発活動の実施 ・移行学級時にてパンフレット等の配付</p> <p><u>3. 広報紙の発行</u> ・関係機関との連携した活動案内発行 ・コミュニティセンター内にて子育て応援情報コーナーの設置</p> <p><u>4. 学ぶ場の提供</u> ・小学4年生への福祉講話協力 ・野外体験活動への協力</p> <p><u>5. 各種団体との連携</u> ・地域のあらゆる団体と連携した「地域食堂」「地域安全マップ作り」「おさがり会」「フードシェアリング」「フードパントリー」「交通安全協会」「メディア教師」等開催 ・学校や町内会と連携し、高齢者宅への子どもの書いた手紙の配付協力</p> <p><u>6. 子育て家庭へのアンケート調査の実施</u> ・幼児保護者にコロナ禍で困った事などのアンケートの実施(過去2回実施)</p>
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が子どもを迎えに来た際の会話の中で悩みを傾聴することができた。 ・学習ボランティアに参加し、子ども達と会話をしながら家庭での様子を伺うことができた。 ・地域食堂を開催するにあたり、お米や飲料水を提供いただくことができた。 ・他団体と連携した「地域食堂」「おさがり会」「フードシェアリング(もったいない輪)」を3月・8月・11月に実施。今年はベビーカーの提供もあり、欲しいと相談のあった、ひとり親家庭に回すことができた。 ・中学校での挨拶運動を毎朝実施し、年間延200人が参加した。 ・昨年実施した相談支援型フードパントリーで繋がった子育て家庭(ひとり親家庭)とのメールでのやりとりは個別案件となったが、不安を払拭し、想いをつなぐことができた。 ・小学校で保護者会がある4月と12月に図工室を借用した放課後こども教室を(昨年まではコロナ禍で中止)再開することができ、保護者と顔の見える関係づくりができて良かった。 ・学校支援活動やコミュニティセンターでの居場所づくり(放課後クラブ:平日 15:30~17:00 夏季 17:30まで)、小学校での放課後子ども教室の開催などの他、他団体と連携した様々な事業を通じ、悩みを抱えていた保護者が私たちの姿を見て、信頼ができる団体だと思っていてくれたことを初めて知った。予算が全くない中、他団体から様々な支援をいただきながら、継続した活動ができている。地域の皆様から支えていただき、感謝の一言しかない。

<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (地域の福祉団体からの補助)</p>
------------------------------------	--